

## ゼミナール決定参考資料

教員名： 井上嘉仁 指導教科： 憲法学(基本的人権 1・2 など)

## ① 研究・関心領域内容

オーストリア学派の自由論,リバタリアニズムの法哲学等を応用した憲法理論の研究  
法の経済分析  
表現の自由等

## ② 自己紹介&lt;こんな学生を募集しています&gt;

ゼミではグループワークが中心となるので、思ったことを、ドシドシ発言できる、元気な学生を募集します。

③ 現在の人数： 三年生 18 人 四年生 15 人

## ④ ゼミのテーマ、方針、学習・研究内容

今年度の前期は、グループに分かれて、学外の施設を訪問し学習しました。学生が主体になって訪問先を選定し、当日のアポイントをとりました。事前学習したうえで訪問学習し、その後の教室でのゼミでは、成果を報告し、質疑に応答しました。

後期は、グループに分かれて、グループごとにテーマを決めて、必要な資料を収集し、情報を共有し、研究成果をまとめて報告しました。

来年度も、学生主体で取り組んでいく予定です。

## ⑤ 授業形態(発表、討論、講義など)

グループワーク、グループ報告を基本とします。  
受講人数が少ない場合は個人報告を実施します。

## ⑩ 最後にゼミのPRをお願いいたします!

ゼミでは、考え方、プレゼンや討論のやり方を身につけてほしいと思っています。

就活や公務員試験の勉強は、ゼミ欠席や報告負担回避の免罪符にはなりません。学生さんの就活や受験には配慮しますが、ゼミにも全力で参加してください。

Doing something is always better than doing nothing!

遊びも勉強も貪欲に取り組んでください。

## ⑥ 現在のゼミの様子、雰囲気

グループワークでは、いろいろな意見を述べ合っており、砕けた雰囲気があります。

全体でのプレゼンテーションでは、ややおとなしい感じがしますが、何か発言しようという意欲も感じられます。

## ⑦ ゼミ生に希望すること

沈黙は“金”ではなく、“無知”と心得て欲しい。

知らないことは恥ずかしいと思い、追究していただきたい。

## ⑧ 成績評価の方法

授業への参加度や発表内容で評価します。

## ⑨ ゼミ生選考方法

来る者拒まず。但し、希望者が予想以上に多く、選抜の必要があるときは、志望理由で選考しますので、加入希望者はメールで志望理由を提出してください。